



A K I N O R I
F U J I S H I M A

————— 藤 島 明 範



藤島 明範 | AKINORI FUJISHIMA

1978年 岩手大学教育学部特設美術科卒業
1990年 東京藝術大学大学院修士課程彫刻科終了

| 賞歴 |

- 1988年 茨城県芸術祭美術展覧会「特賞」受賞
- 2005年 桜の森彫刻コンクール「町民賞」/ 秋田県井川町
第26回UBEビエンナーレ(現代彫刻コンクール) 入選
- 2017年 第27回UBEビエンナーレ(現代彫刻コンクール) 宇部マテリアルズ賞
- 2019年 第28回UBEビエンナーレ(現代彫刻コンクール) 入選

| パブリックコレクション |

- 1981年 「かひー春宵」/ 秋田県北秋田市
- 1984年 「風の門」/ 秋田県北秋田市
- 1995年 「かひー流星」/ 岩手県岩手町
- 2005年 「瞑想の部屋—北極星との交信」/ 秋田県井川町
- 2012年 「時空トンネル」/ 東京都東新宿 新宿イーストサイドスクエア
- 2019年 「北極星との交信V」/ 広島市中区 hitoto広島the tower

| 個展 |

- 1982年 彩園子画廊 / 盛岡市
- 1996・1997年 カフェ・トラッド / つくば市
- 2003年 アートスペース あ・る・る / 牛久市
- 2005年 絨カフェ壺の蔵 / 結城市
- 2012年 紀伊國屋画廊 / 東京新宿
メタルアートミュージアム光の谷 / 印西市
- 2017年 いりや画廊 / 東京北上野
- 2020年 水道ギャラリー / 東京水道橋

| グループ展・団体展 |

- 1977年 国展入選(以降2008年まで毎年出品)
- 1980年 盛岡彫刻シンポジウム / 盛岡市
- 1987年 国展会友推挙
- 1988年 古山浩一・藤島明範二人展 茨城県つくば美術館 / つくば市
- 1995年 岩手町国際石彫シンポジウム / 岩手県岩手町
- 1998年 国画会会員推挙
- 2001年 つくば彫刻展 茨城県つくば美術館 / つくば市
- 2006/2008/2011/2013/2015年 雨引の里と彫刻 茨城県桜川市
- 2009年 国画会退会

2017年秋のいりや画廊での個展では、画廊のある東京で北極星を捉える機能を持つ作品をはじめ、黄道十二星座などの「星空」をモチーフにした展示をおこないました。ちょうどこの年は、北極星をモチーフにした作品が宇部ビエンナーレで展示されていたこととも重なり、北極星という遠い天体との交信を山口県と東京都で同時に行うという展示でした。今回の個展でも、「星空」をモチーフに展示します。2017年の個展発表後に私が移り住んだ二戸市は岩手県の最北端にあり、丘陵地帯の澄んだ空気は夜空の星々がよく見えます。その暮らしのなかでいっそう身近かになった「星空」を再びモチーフにした今回の展示は、私自身の在り様をみる機会であると思っています。

藤 島 明 範



[宙 (そら) ゆく魚]

黒御影石・芦野石 / 850×600×180 (mm)



[星めぐり]

黒御影石 / W23×D35×H36(cm)



[いて座]

黒御影石 / 450×200×180(mm)



[黄道12星座]

おひつじ座 おうし座 ふたご座 かに座 しし座 おとめ座 てんびん座 さそり座 いて座 やぎ座 みずがめ座 うお座

男鹿石(漆仕上げ) / 300×300×約50(mm)



[熔ける宙(そら)]

芦野石 / 800×800×150(mm)



[黄道12星座 2106]

黒御影石 / 400×3400×200 (mm)



[宙(そら)ゆく舟 — 2万2千の星]

黒御影石



[始まり]

芦野石 / 400×400×100(mm)



[顔]

芦野石 / 80×80×250(mm)